

2019年度

## 第2期SDGs未来都市計画（2022～2024）の進捗状況報告シート（様式1）

奈良県生駒市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2022年～2024年

## (1) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2022年	2023年	2024年	2030年（目標値）	達成度（%）
1	いごま市民パワーによる雇用創出【8.3,8.5】	2021年 3人	2022年 2人			2030年 8人	-20.0%
2	いごま市民パワーの一般家庭への電力供給戸数【8.3,9.4】	2021年 38戸	2022年 65戸			2030年 1,000戸	2.8%
3	市内居住の推奨意欲を持つ人の割合【17.17】	2021年 60.8%	2022年 64.9%			2030年 69.0%	50.0%
4	子育て世帯の住みやすさの満足度【17.17,3】	2021年 5.15点	2022年 4.97点			2024年 6.02点	-20.7%
5	1人あたりCO <sub>2</sub> 排出量【7.2,7.3,13.3】	2019年 2.08 t-CO <sub>2</sub>	2021年 2.29 t-CO <sub>2</sub>			2030年 1.85 t-CO <sub>2</sub>	-91.3%

## (2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況（2022年～2024年）

No	取組名	指標名	当初値	2022年実績	2023年実績	2024年実績	2024年目標値	達成度（%）
1	いごま市民パワーを核とした日本版シュタットベルケモデルの実現	いごま市民パワーによる雇用創出	2020年 3人	2022年 2人			2024年 6人	-33.3%
2		資源循環・コミュニティステーションの設置	2020年 2箇所	2022年 3箇所			2024年 4箇所	50.0%
3		収益還元検討ワークショップの開催	2020年 0回	2022年 0回			2024年 3回	0.0%
4		再生可能エネルギーによる発電量	2020年 28,934 kW	2022年 30,981 kW			2024年 35,145 kW	33.0%
5		いごま市民パワー電源に占める地産再生可能エネルギー比率	2020年 10.0%	2022年 15.1%			2024年 43.3%	15.3%
6	都市構造の再設計	空き家流通促進プラットフォーム取扱件数	2020年 81件	2022年 119件			2024年 205件	30.6%
7	ごみ排出量の削減	家庭系、事業系を含めたごみの排出量	2020年 33,603 t	2022年 32,478 t			2024年 31,948 t	68.0%
8	高齢者支援	介護予防・日常生活支援総合事業参加人数	2020年 65,646人	2022年 111,406人			2024年 157,254人	50.0%
9	子育て支援	市直営の地域子育て支援拠点利用者数	2020年 17,110人	2022年 20,420人			2024年 34,432人	19.1%
10	スローツーリズムの推進	観光ボランティアガイド利用者数	2020年 813人	2022年 1,421人			2024年 2,526人	35.5%
11	農業の振興	青年新規就農者数	2020年 16人	2022年 19人			2024年 19人	100.0%

## (3) SDGs未来都市計画推進のKPI達成に係る評価及び課題等

・中心施策となるいごま市民パワーでは引き続き、電力小売事業及びコミュニティサービス事業に取り組んでいる。令和4年度は、一般家庭の卒FIT電気の買取拡大等、再生可能エネルギーの地産地消拡大に向けた取組のほか、自治会におけるコミュニティ活性化、リユース品の有効活用に向けた調査、検討に取り組んだ。

・(1)-1、(2)-1「いごま市民パワーによる雇用創出」は、全国的な電力受給の逼迫及び新電力市場価格の高騰が慢性化する状況の下で、経営に大きな影響があり、雇用人数が減少。今後業務正常化、拡大に併せて、雇用の拡大も図っていく。

・(2)-3「収益還元検討ワークショップの開催」は、実施の企画、準備まで行っていたものの、コロナ感染者の急増に伴い、開催を見送ったことで未開催となった。

・(1)-4「子育て世帯の住みやすさの満足度」は、当初値よりも下回っているが、出産・子育て等へのサポートを継続するだけでなく、労働環境や住環境など、生活全般に関わる環境整備に取り組む。

・(1)-5「1人あたりCO<sub>2</sub>排出量」は、当初値よりも増加しているが、前年度比では減少。令和5年4月に選定された脱炭素先行地域として、今後更なる脱炭素施策推進に取り組む中で、本取組の更なる加速を目指す。